

# 令和5年度事業報告

<人材の育成事業>

## 1. 海外の大学院に留学する日本人学生に対する奨学金の支給

平成30～令和5年度採用の海外の大学院（8カ国31大学/3研究所）に留学し修士号又は博士号の取得を目指す日本人学生49名に奨学金を支給するとともに、令和6年度の募集・選考を行い、採用10名を決定した。

（分野：情報科学、生命科学、経営科学）

## 2. 日本人若手研究者に対する研究助成金の支給

令和5年度採択の研究課題15件（12大学1研究所）に研究助成金（1件500万円以内、総額5,450万円）を支給するとともに、令和6年度の募集・選考を行い、研究課題22件（総額7,300万円）の採択を決定した。なお、令和5年度採択は当初16件（総額5,500万円）であったが1件の辞退があったため、最終採択は15件となった。

（分野：情報科学、生命科学）

## 3. 日本人独立研究者に対する始動助成金の支給

令和6年度の募集・選考を行い、研究課題13件（総額1億円）の採択を決定した。公募初回となる今回の申請数は情報科学分野30件、生命科学分野87件、計117件であった。（分野：情報科学、生命科学）

<留学生交流の助成事業>：以下3事業は（独法）日本学生支援機構(JASSO)が窓口

## 4. 外国人留学生地域交流事業に対する助成

地域の関係機関等が連携・協力して行う留学生地域交流を推進するための事業（国際理解教育の推進、生活支援体制の整備、地域住民との交流推進、各種ネットワークの整備等）に関し、一般公募により長久手市国際交流協会等34団体34件を採択した。その後、コロナ禍の影響で発生した繰越金を使用した追加公募を実施し、山梨大学等18件を追加採択し、合計52件の採択となった。

## 5. 外国人留学生国際交流事業に対する助成

留学生等を主な対象として国際研究交流大学村において実施される 東京国際交流館及び 兵庫国際交流会館 国際交流フェスティバル(令和 5 年度は完全対面での実施)、国際シンポジウム「世界各地の社会的要請に対応可能な日本語教育シンポジウム」、国際塾、大学村フォトコンテスト 等の各種国際交流事業に対して助成を行った。なお、今年度の交流事業も一部オンライン式を用いて、対面式とそれぞれの特性を生かした開催となった。

## 6. 外国人留学生生活支援事業に対する助成

国際研究交流大学村（東京国際交流館）に居住する留学生等を対象に実施する、入居日本人学生（レジデント・アシスタント）による留学生等の研究・日常生活相談活動、トレーニングルーム運営、日本語広場等ボランティア経費、日本文化体験・学習、就職支援 等の生活支援事業や老朽化した設備の更新工事費用・備品の更新に対して助成を行った。